SBI子ども希望財団　SBI Children's Hope Foundation

各位

2025 年 2 月 6 日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 和歌山
～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：世耕久美子、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、一般社団法人和歌山県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 和歌山～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 和歌山」開催概要

日時：　2025 年 3 月 1 日（土）14:00～16:50
場所：　ホテルグランヴィア和歌山　6 階 ル・グラン（和歌山市友田町５丁目１８）
参加費：　無料（先着 200 名）
プログラム概要：

基調講演　：「子ども虐待・チャイルドマルトリートメントに対応するこれからの展望
～子どもに焦点を当て、家族を中心とした、地域における予防策～」
座長：平石 英三（和歌山県医師会会長）
講師：柳川 敏彦（南紀医療福祉センター院長）

シンポジウム　：1.　「障害児虐待の現状と課題」
下山田 洋三（愛徳医療福祉センター小児科）
2.　「支援が生きる児童保護システムの構築に向けて」
鈴木 玲（和歌山県中央児童相談所所長）
3.　「家庭内子ども虐待の現状・課題と求められる新たな子ども家庭福祉
～保護から養育へのパラダイムシフト～」
加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長）
4.　「レジリエンスを育む保護的・補償的体験～児童心理治療施設における関わりから～」
衣斐 哲臣（児童心理治療施設みらい施設長）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。
【子育て支援フォーラム in 和歌山～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】
https://www.med.or.jp/people/info_event/seminar/005325.html

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011 年より全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団　概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に 2005 年 10 月に、SBI グループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010 年 3 月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ： https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/

以上

- -

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて:

SBI ホールディングス株式会社　コーポレート・コミュニケーション部　03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について:

公益財団法人 SBI 子ども希望財団　03-6229-1003

子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

子育て支援フォーラム in和歌山

一人じゃないよ、大丈夫。

その愛で つつんで。

柴田明澄
2024年度
オレンジリボン
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞
受賞作品

児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっています。
特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。
そのためには、妊娠・出産・子育てに対する具体的対応を含め、社会全体で取り組む必要があります。
次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、
児童虐待防止に向けた啓発活動、情報提供を行います。

参加費 無料
定員200名

日時 令和7年3月1日(土) 14:00-16:50

場所 ホテルグランヴィア和歌山 6階 ル・グラン
※事前のお申し込みで託児施設がご利用いただけます。
［託児申込締切：令和7年2月17日まで］

主催
公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
一般社団法人和歌山県医師会

後援(予定)
こども家庭庁、日本産婦人科医会、日本小児科医会、和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山県学校保健連合会、和歌山県産婦人科医会、和歌山小児科医会、公益社団法人和歌山県病院協会、一般社団法人和歌山県歯科医師会、一般社団法人和歌山県薬剤師会、公益社団法人和歌山県看護協会、一般社団法人和歌山県助産師会、和歌山県精神科病院協会、株式会社テレビ和歌山、株式会社和歌山放送、株式会社和歌山リビング新聞社、わかやま新報、株式会社紀伊民報、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会

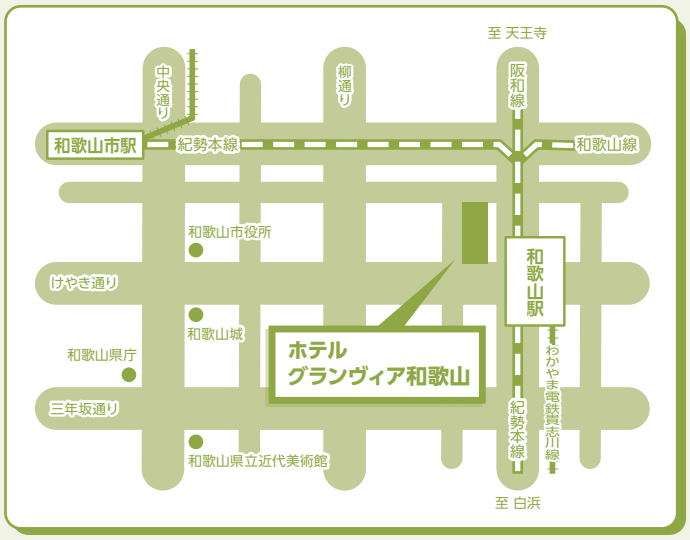
参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、FAXまた本会ホームページよりお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 和歌山
子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時：令和7年3月1日（土）
14：00～16：50

場所：ホテルグランヴィア和歌山
6階　ル・グラン
〒640-8342 和歌山市友田町5丁目18
TEL：073-425-3333

◆JR和歌山駅中央口から徒歩2分。



プログラム

司会：濱田 寛子（和歌山県医師会理事）

1. 開　　会 …… 14:00
2. 挨　　拶 …… 14:00～14:10
   松本 吉郎（日本医師会会長）、平石 英三（和歌山県医師会会長）
3. 基調講演 …… 14:10～15:00
   座長：平石 英三（和歌山県医師会会長）
   講演：柳川 敏彦（南紀医療福祉センター院長）
   「子ども虐待・チャイルドマルトリートメントに対応するこれからの展望
   ～子どもに焦点を当て、家族を中心とした、地域における予防策～」
4. シンポジウム …… 15:00～16:20
   座長：木下 智弘（和歌山県医師会副会長）
   奥村 嘉英（和歌山県医師会理事）
   シンポジスト：下山田 洋三（愛徳医療福祉センター小児科）
   「障害児虐待の現状と課題」
   鈴木 玲（和歌山県中央児童相談所所長）
   「支援が生きる児童保護システムの構築に向けて」
   加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長）
   「家庭内子ども虐待の現状・課題と
   求められる新たな子ども家庭福祉
   ～保護から養育へのパラダイムシフト～」
   衣斐 哲臣（児童心理治療施設みらい施設長）
   「レジリエンスを育む保護的・補償的体験
   ～児童心理治療施設における関わりから～」
5. 総合討論 …… 16:20～16:45
6. 閉　　会 …… 16:45～16:50
   世耕 久美子（SBI子ども希望財団理事長）

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、FAXまたは本会ホームページより お申し込みください。

必ず　1. 郵便番号　2. 住所　3. 氏名
4. 電話・FAX 番号
を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切：令和7年2月21日（金）必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

FAX **073-436-0530**

HP
http://wakayama.med.or.jp

お問い合せ／073-424-5101（和歌山県医師会事務局）

こちらからもお申込みいただけます

参加申込書
子育て支援フォーラム in 和歌山
子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して
〔令和7年3月1日（土）開催〕

住所	〒　　－			託児施設のご利用　有・無
				託児人数　／託児年齢
氏名	ふりがな	電話番号	－　　－	男児　人／　才　ヶ月
		FAX	－　　－	女児　人／　才　ヶ月
住所	〒　　－			託児施設のご利用　有・無
				託児人数　／託児年齢
氏名	ふりがな	電話番号	－　　－	男児　人／　才　ヶ月
		FAX	－　　－	女児　人／　才　ヶ月

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報は、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓FAX送信 073-436-0530↓